

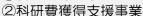
研究をおもしろく、 わかりやすく!

かわら ばん

Vol.1

CONTENTS

①初刊にあたり



③研究分析ツール紹介



2020年8月6日

発行:研究・イノベーション推進機構 https://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/

初刊にあたり



研究・イノベーション推進機構長 弘前大学理事(研究担当)・副学長 若 林 孝

研究には種々の面があり、個々の興味に根付いた研究もあれば、達成目標の明確なプロ ジェクト型の研究もあります。研究は難しいほどおもしろいという意見もありますが、人に伝え てゆくためには「研究をおもしろく、わかりやすく」をテーマに掲げたいと思います。このたび刊 行することになった「かわらばん(弘大研究ニュース)」では、研究にまつわる様々な情報をわ かりやすくお伝えしてゆきます。研究の合間に目を通していただければ幸いです。

科研費獲得支援事業(大型種目チャレンジ型)

弘前大学では、基盤研究(B)相当以上の大型種目の採択を目指し、令和3年度科学研究費助 成事業(令和2年9月公募)へ申請し、不採択となった研究課題に対して、研究費の一部を支援 します。

令和3年度公募における主な変更点

審査結果がA評価の研究課題に対する支援額の上限を、以下のとおり大幅に増額しました。

基盤研究(S)相当の研究種目: 2,000 千円 → 8,000 千円 基盤研究(A)相当の研究種目: 1,500 千円 → 3,000 千円 基盤研究(B)相当の研究種目: 1,000 千円

• 令和3年度において研究代表者として採択されている科研費課題がある 申請者についても、「支援額」に規定する1/2の額を新たに支援します。 詳細はこちら↓

http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/gakunai/kakensien

令和2年9月頃、学内通知の予定です。大型種目へ、ぜひチャレンジしてください!

「研究力」って何?自分の強み,把握したくありませんか?





みなさんは「大学ランキング」という言葉を耳にしたことがありますか? これは教育の充実や成果の度合いを総合しランク付けしたもので、昨今、国 内外のメディアで報じられることが多くなっています。このようなランキン グに象徴されるように、研究力の定量化が一般化されつつあります。また国 が制定する「第5期科学技術基本計画(H28-32)」では、「総論文数増加、 総論文のうちトップ10%論文数割合の増加(10%へ)」という目標が謳われ ており、研究にたずさわる人間は、今後「研究力の定量化」を意識せざるを 得ない状況にあります。



自分の研究力はいったいどの位置にあるのか?!

気になる方は、今すぐこちらをクリック!↓

InCites Benchmarking: 研究分析ツール

次号以降、詳しい使い方を解説します。